

(平成 30 年 7 月試験研究業務月報)

試験研究課題：トウガラシ類等パイプハウスの環境制御技術の開発

(「革新的技術開発・緊急展開事業」(うち地域戦略プロジェクト))

情 報

ICT の利用でハウス内環境を改善

当センターでは、ハウス内の万願寺トウガラシの温度管理を改善し、収量をもとめるため、平成 28 年度から生産者のハウス 12 棟に ICT 機器を設置し、温度測定等の実証試験を行っています。

7 月 3 日、宇治市内の実証ほ場において、生産者、地元 J A、共同研究機関による、意見交換を行ったところ、熟練した生産者の栽培管理に従い、ハウス内の温度が下がる前にハウスを早く閉めることで 4 月の 17 時台の気温が昨年より 5℃ 高く保たれた結果、出荷量が 3 倍に増えていることが確認でき、ICT の活用による収益向上が実証されました。

今後はタスクチーム活動*などを通じて、収量向上につながる有力な手段として、ICT を産地に普及させていきます。

※ タスクチーム活動：研究機関と普及組織が連携して、モデルほ場の設置等の手法を用いて現地課題を早期に解決する活動



生産者から ICT を利用した温度監視システムの使用実感について聞き取り